

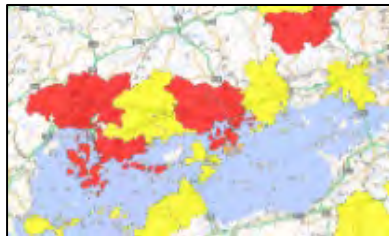
次期総合防災情報システムの開発状況  
と  
能登半島地震における  
情報集約・活用事例



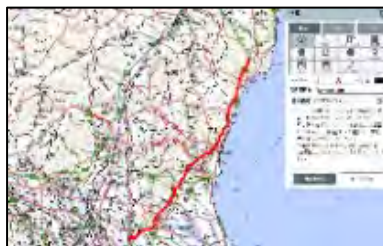
- 次期総合防災情報システムは、**災害情報を地理空間情報として共有するシステム**。
- 災害発生時に災害対応機関が被災状況等を早期に把握・推計し、**災害情報を俯瞰的に捉え、被害の全体像の把握を支援**することを目的としている。

## 災害情報集約

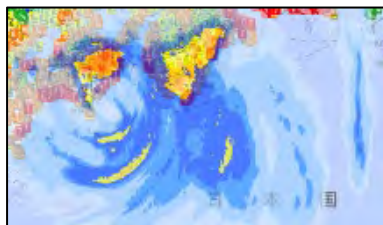
関連機関から情報を集約



断水情報



道路通行規制状況



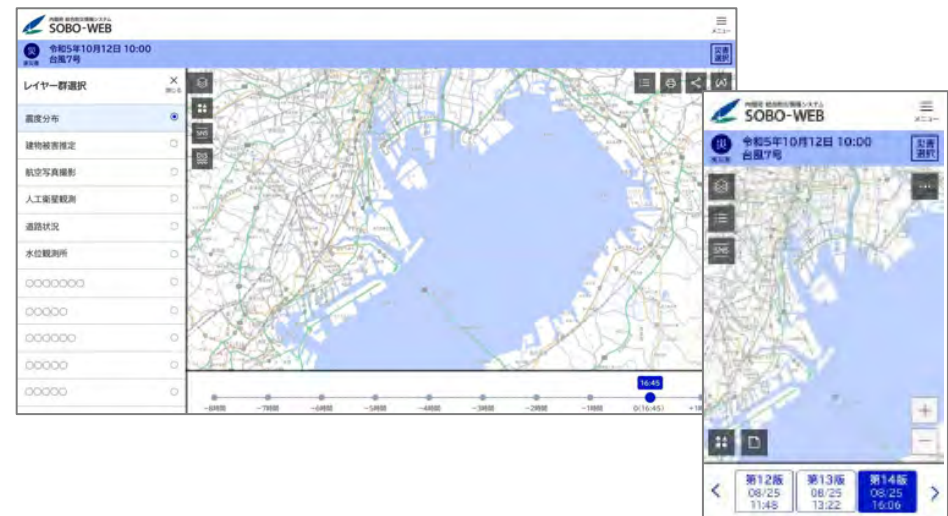
解析雨量降水短時間予報

等

## 地図情報の共有

収集したデータを地図化し、災害対応に活用  
(2種類の利用態様で提供)

### ①地図機能 (SOBO-WEB)

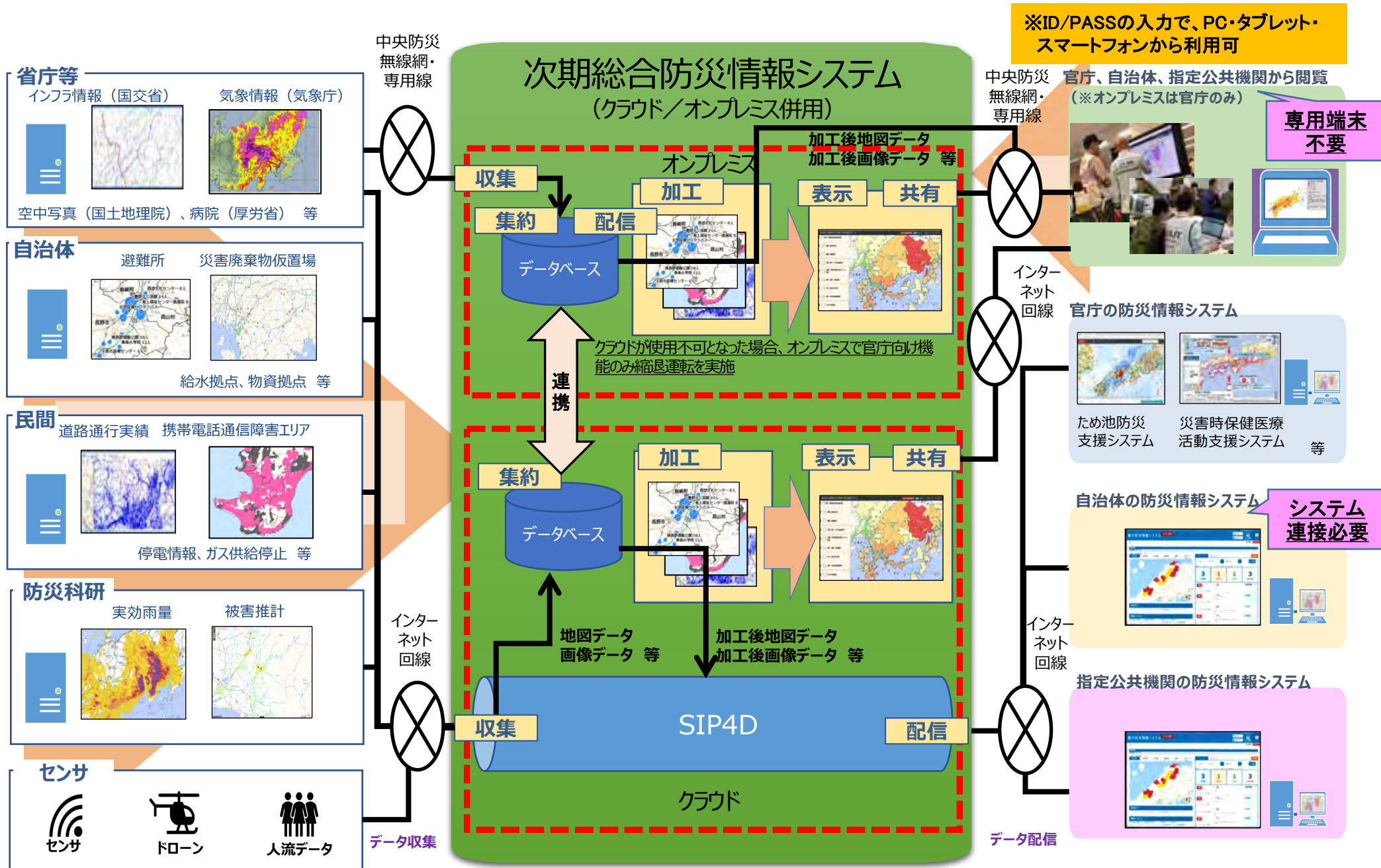


※インターネット接続環境下の端末のWebブラウザより、専用URLに接続後、ID/PASSの入力でアクセス可能。  
専用端末不要で、PC・タブレット・スマートフォンから利用可。

### ②情報流通機能 (SIP4D機能の社会実装)

システム同士の接続により、災害情報の送受信が可能。

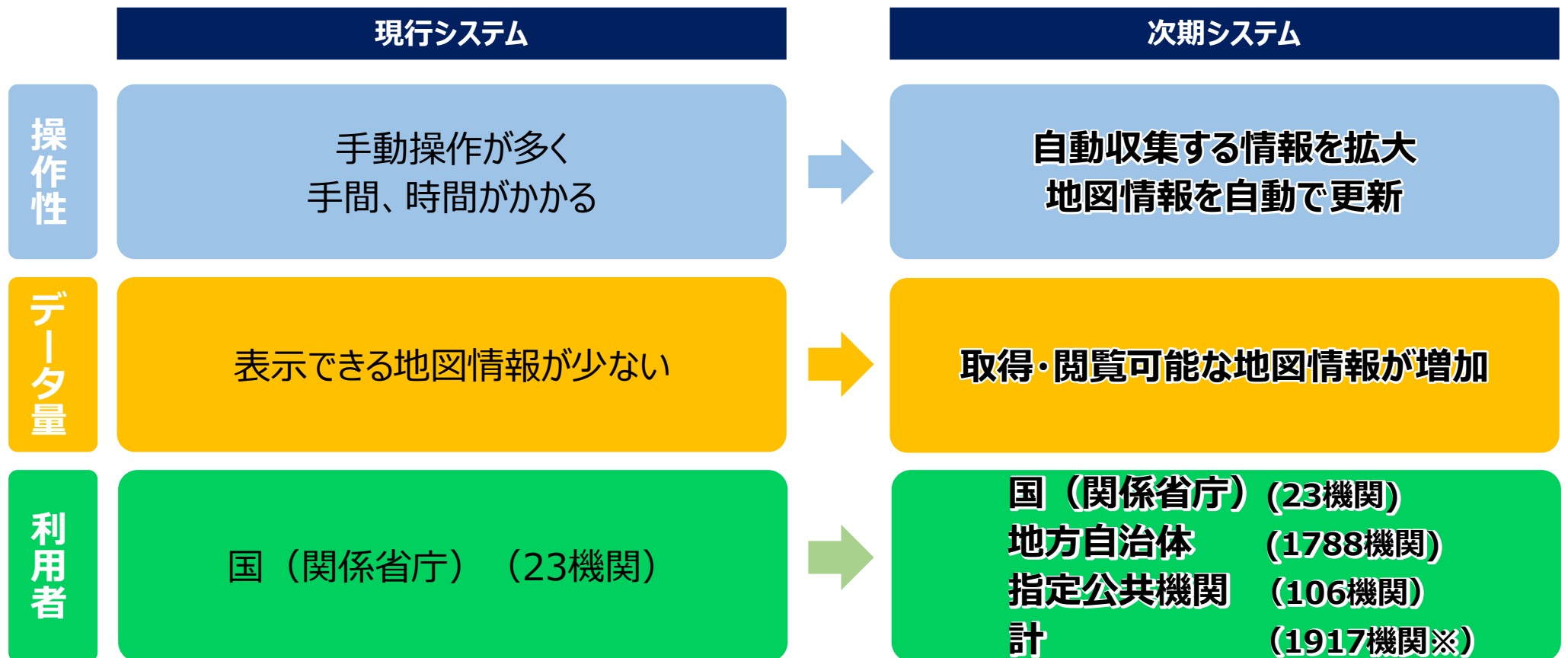
# 次期総合防災情報システムの概要図



# 次期総合防災情報システムの変更点



- 現行システムは、整備から10年以上経過しており、操作性やデータ量に課題あり。また、利用者も国の関係省庁に限られている。
- 次期総合防災情報システムでは、**操作性・データ量を大幅に強化**するとともに、国の機関だけでなく、**地方自治体・指定公共機関も利用可能**に。



※2023年6月30日現在

**国と自治体等が一体となった災害対応を一層さらに強化。**



- 次期総合防災情報システムの機能には、「地図操作機能」「データ流通機能」がある。
- 旧ISUT-SITEや旧SIP4Dの仕組みを取り入れつつ、機能を追加する予定。

## 次期総合防災情報システム

データ流通機能

データ収集・配信

旧  
SIP4D

データ加工

地図操作機能

地図情報重畳

旧  
ISUT-SITE

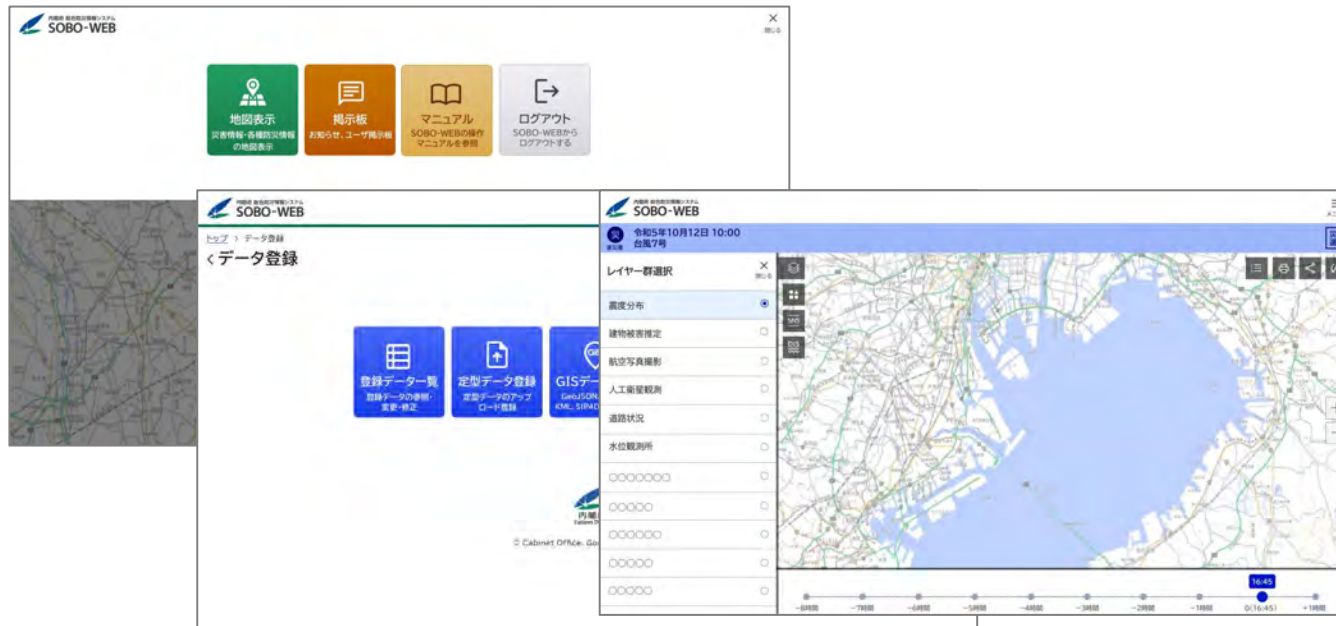
情報入出力・印刷

地方自治体から省庁に報告されている情報については、基本的に所管省庁のシステムと次期総合防災情報システムとがシステム連携を行い、情報収集する予定。





○次期総合防災情報システムでは、web画面で地図情報を利用者自ら操作し、情報選択や表示のカスタマイズ、ドローン映像※を含む各種データ登録機能を実現。 ※映像登録は令和6年中に対応予定



## ○主要機能

- 災害情報の閲覧（単一情報表示、複数情報の重畳表示（情報選択可））  
閲覧のほか、印刷、ダウンロードが可能(許可されているデータの場合)
- 報表示機能、タイムラインでの過去～現在表示機能
- PC・タブレット表示モード、スマートフォン表示モード
- データ登録、修正機能（ファイル読み込み登録、登録フォームからの情報登録）  
公開条件・範囲設定機能（登録の都度、公開範囲などのデータ利用条件を設定）
- データ出力機能、印刷機能
- 訓練モード利用による、災害対応訓練支援機能
- お問い合わせ、機能追加、修正要望投稿機能（掲示板）



## 概要

- ISUT (Information Support Team : 災害時情報集約支援チーム) は、大規模災害時に被災情報や避難所などの情報を集約・地図化・提供して、自治体等の災害対応を支援する現地派遣チーム
- 内閣府防災担当と国立研究開発法人防災科学技術研究所で構成 (1チーム4名程度)
- 平成30年度から試行的に活動(※1)し、令和元年度から本格運用(※2)

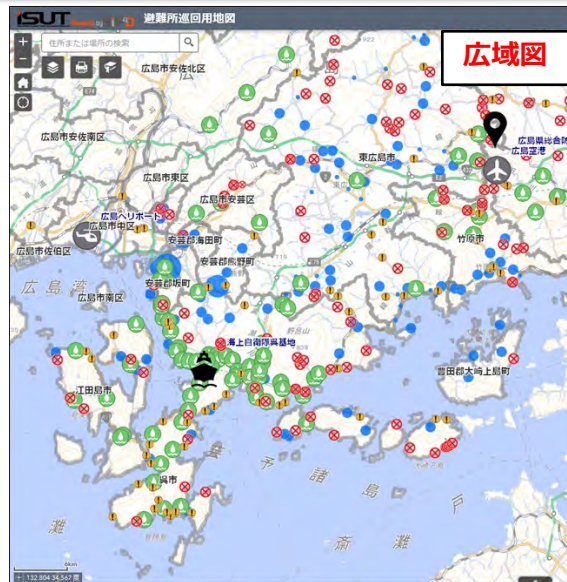
(※1) 大阪北部を震源とする地震 (大阪府庁)、平成30年7月豪雨 (広島県庁)、平成30年北海道胆振東部地震 (北海道庁)

(※2) 6月下旬からの大雨 (鹿児島県庁)、令和元年8月の前線に伴う大雨 (佐賀県庁)、令和元年台風第15号 (千葉県庁)、令和元年台風第19号 (宮城県庁・福島県庁・茨城県庁・栃木県庁・埼玉県庁・長野県庁)

## 活動内容

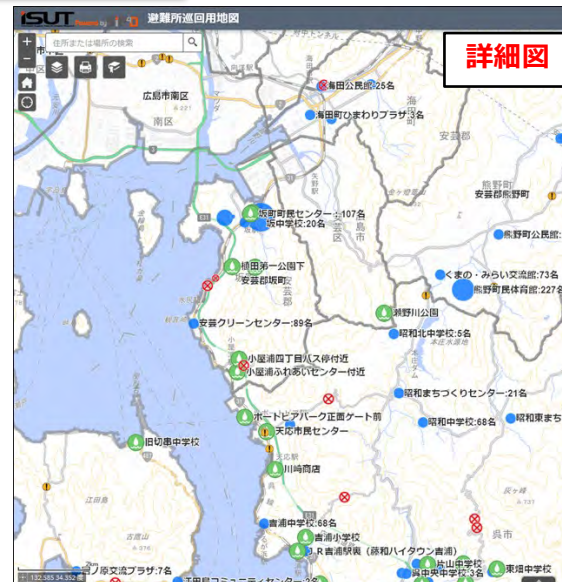
- 現地 (被災都道府県の災害対策本部等) で、国・自治体・民間の災害対応機関から、気象等の状況、インフラ・ライフラインの被災状況、避難所の開設状況等の災害情報を収集
- ニーズに応じて必要な情報を重ね合わせた地図を作成し、災害ごとに開設する専用Webサイト (「ISUT サイト」) 等で災害対応機関に提供

## ISUTが提供する地図の例 (避難所支援用地図)



拡大

縮小



**避難者数**

- 0
- > 0 - 100
- > 100 - 200
- > 200 - 300
- > 300 - 318

**道路規制箇所**

- ⊗ 通行止
- ⚠ 片側規制等

**給水拠点**

- 🌿 給水拠点

※インターネット環境があれば、どこでも閲覧可能  
※拡大・縮小が可能





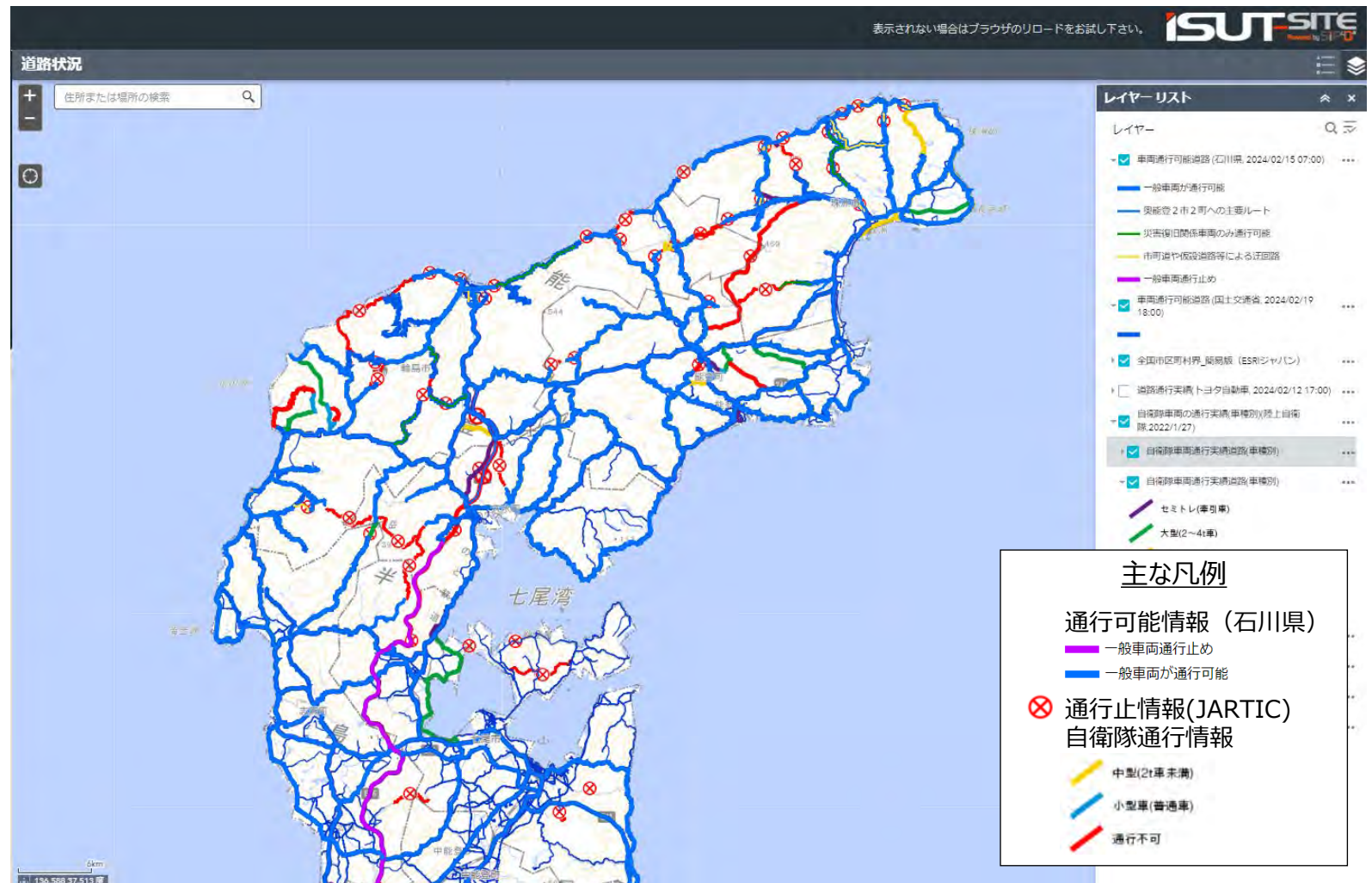
- **情報**：石川県 + 実動機関 + 国交省 + 民間企業の道路情報を集約し地図上に掲載。
- **配信**：通れた道・通れる道・通行止め箇所等の情報を一括し閲覧できる地図として配信。
- **活用**：各機関において移動経路策定・災害対応作戦立案（実動機関：物資輸送・人員配備，電力会社：停電復旧）に活用。



現地災害対策本部合同調整  
本部における作戦立案



災害対応現地での情報利用  
“通れる道”の確認  
(能登町における対応)







- **情報**：道路情報・福祉施設・医療機関の情報を集約し地図上にプロット。
- **配信**：要配慮者や医療従事者の要対応情報を閲覧できる地図として配信。
- **活用**：DMAT等の医療関係者が病院・福祉施設等における要支援者対応巡回のために活用。



福祉施設，医療機関情報を確認した上での対応作戦立案



DMATおよび医療従事者による全体作戦会議での情報確認および作戦立案





- **情報**：物資調達・輸送等調整システムで集約した物資拠点をプロットし、道路情報等と重ね合わせて表示。
- **配信**：物資輸送を管理する者（石川県・協力民間事業者等）へ配信。
- **活用**：輸送ルート等の検討の基礎資料として参照。

令和6年能登半島地震に関するISUT-SITE 表示されない場合はブラウザのリロードをお試し下さい。 ISUT-SITE Powered by SIPO

**避難所状況**

---

**福祉施設状況**

---

**道路状況**

---

**市町村物資拠点**

出典：内閣府  
説明：内閣府が集約した市町村物資拠点の位置。  
※現地状況の変化により、実際の状況と異なる場合があります。

---

**生活支援箇所**

---

**NPO等の活動状況**

---

**廃棄物処理状況（仮置場・処理施設）**

**市町村物資拠点**

レイヤーリスト

物資倉庫での活用事例